



新たな技術と豊かな生活を創り出す アジアの先端都市を目指して

1世紀を超える日本の産業拠点としての歴史を背景に、製鉄、機械、そして環境エネルギー産業など、多くの製造業が集積。一方で、サービス産業やIT企業などの進出も増加しており、多種多様な企業が活発に活動しています。それに対応するさまざまな支援策や、スタートアップを支える体制も充実しています。

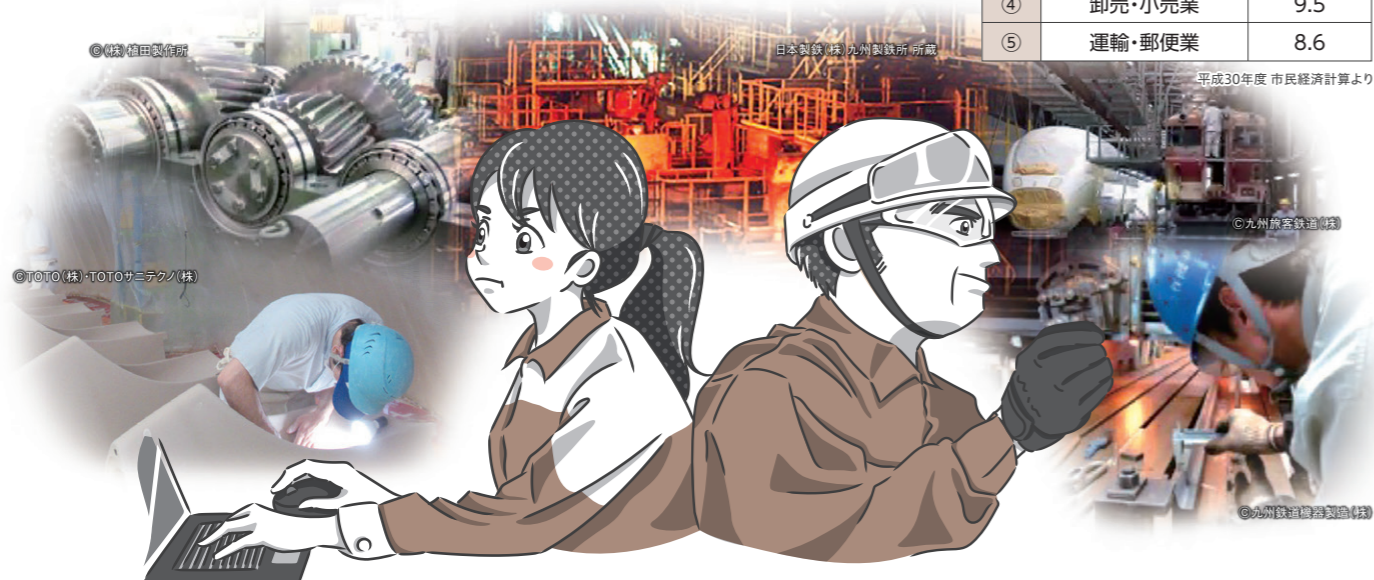
産業振興の取り組み | 01

“ものづくりのまち”

官営八幡製鐵所の操業開始以来、「ものづくりのまち」として日本の産業近代化に大きく貢献してきた北九州市には、世界シェアトップを誇る大企業が本社を置くなど、そのDNAは健在。その他にも、脈々と受け継がれた独自技術を有するものづくり企業が数多く存在します。物流インフラや知的基盤の充実など、地域の強みも生かしたさらなる産業振興に向けてさまざまな取り組みを行っています。

●市内総生産構成比(上位5業種)

	業種名	構成比(%)
①	製造業	21.8
②	不動産業	10.8
③	保健衛生・社会事業	9.7
④	卸売・小売業	9.5
⑤	運輸・郵便業	8.6

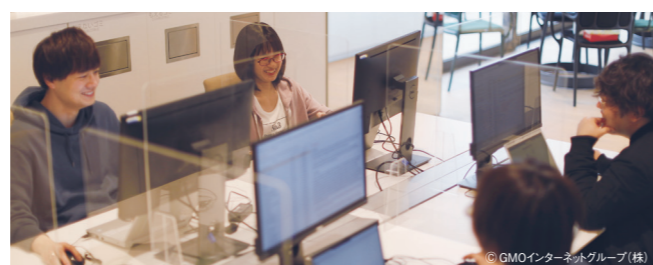


■ ロボット



近年では、高い技術力を有する企業と学術研究機関の連携により、産業用ロボットの研究開発など、わが国をリードするロボット産業拠点を形成する取り組みを進めています。

■ IT



若い世代に好まれる仕事である、IT関連企業の誘致と、進出企業への人材採用支援を積極的に進めています。

主な誘致実績



産業振興の取り組み | 02

“風力発電関連産業の総合拠点形成”

洋上風力発電は、再生可能エネルギー主力電源化の切り札として期待されているだけでなく、関連する産業の裾野が広く、経済効果や雇用創出効果が期待できるといわれています。洋上をはじめとした風力発電関連産業の総合拠点形成を進めることにより、カーボンニュートラルの実現に資するとともに、臨海部における産業・物流の活性化、さらには本市地域経済の活性化を図っていきます。

■ 北九州市が形成を進めている風力発電産業の総合拠点とは？

風車積出拠点
風車設置場所に向けた最終積出基地としての機能

O & M拠点
風車のオペレーションおよびメンテナンスを行う機能

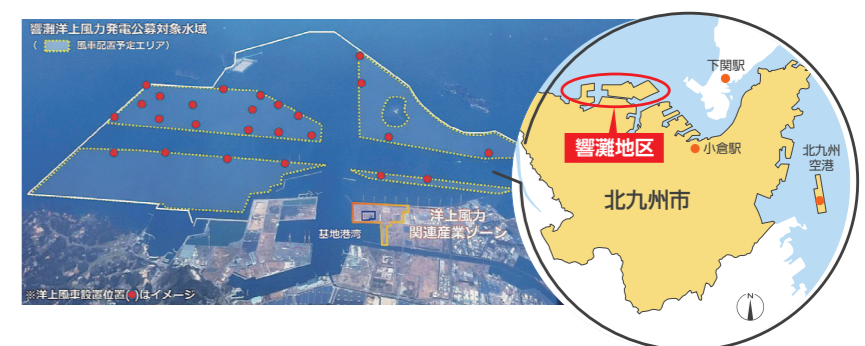
輸出入・移出入拠点
風車部品の輸出入、移出入拠点としての機能

産業拠点
背後地に風車関連産業を集積した産業拠点としての機能

■ なぜ北九州市に？ ～風力発電に適した4つの特徴～

- 充実した港湾施設
- 港湾に隣接した広い産業用地
- ものづくり産業を支える企業集積
- 良好な風況

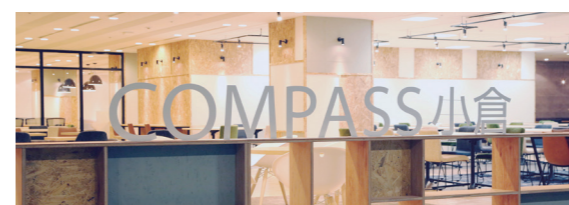
■ 若松区響灘地区における洋上ウインドファームの予定図



スタートアップの街・北九州 ～日本一起業家に優しいまちへ～

北九州市は、「ベンチャー企業の創出・育成」を重要な施策の一つと位置づけ、スタートアップ企業の皆さんに寄り添う支援により、「日本一起業家に優しいまち」を目指しています。

COMPASS小倉 (北九州テレワークセンター)



創業支援プログラムの実施や創業に関する総合相談窓口の設置、創業に関する「情報」と「人」の集約・発信の強化、ビジネスマッチングの促進など、創業を考えている人をワンストップで支援しています。



コワーキングスペースには、独創的な技術やビジネスモデルを持つ多くの起業家が集い、入居企業等との交流の中でイノベーションを創出しています。

おためし サテライトオフィス

首都圏のIT企業などを対象に、北九州市のビジネス環境を体感いただくため、滞在費・交通費などの助成や、地元企業や学校などのマッチング支援を行っており、北九州市でのビジネスの展開を後押ししています。